



この挑戦が、未来となる。

ちゅうぎんフィナンシャルグループ

NEWS RELEASE



ちゅうぎんキャピタルパートナーズ



令和 7 年 4 月 4 日

株式会社 ちゅうぎんキャピタルパートナーズ

ちゅうぎんインパクトファンドによる Zip Infrastructure 株式会社（ジップインフラストラクチャー） に対する投資実行について

ちゅうぎんキャピタルパートナーズ（岡山市北区 代表取締役 岡田 浩幸）は、社会課題や環境問題の解決に貢献する企業を出資対象とする「ちゅうぎんインパクトファンド」にて、Zip Infrastructure 株式会社（福島県南相馬市 代表取締役 CEO 須知 高匡、代表取締役 COO レボンキン・マリオ・イアン・カロス・フェリド、以下「Zip 社」）の第三者割当増資を引受けました。

Zip 社は、自走式ロープウェイ『Zippar（ジッパー）』の設計・開発に取り組み、新たな都市型交通システムを提供することを目指すスタートアップです。『Zippar』は従来のモノレールの半分の輸送量を 1/5 のコストで輸送可能な次世代交通システムとして注目されています。

交通渋滞は世界各地で経済的損失を引き起こしており、その解決は喫緊の課題とされています。“低コスト・自動運転・自由な路線設計”を特徴とする『Zippar』は、地方都市における交通渋滞問題の解消や効率的な移動手段の提供に大きく貢献することが期待されます。

ちゅうぎんフィナンシャルグループでは、地域にイノベーションと新しい価値を届けてくれるスタートアップに対する出資を通じて、起業家たちのチャレンジを後押しし、地域社会のさらなる発展に向けて活動してまいります。

1. 投資案件の概要

投資先名（本社所在地）	Zip Infrastructure 株式会社（福島県南相馬市）
代 表 者	須知 高匡
設 立 日	2018 年 7 月 20 日
事 業 内 容	自走式ロープウェイの研究開発
ホ ー ム ペ ー ジ	https://zip-infra.co.jp

【Zip Infrastructure 株式会社 代表取締役 CEO 須知 高匡氏からのコメント】

バス運転手不足の解決のための乗り物、自走型ロープウェイ Zippar を開発しています。岡山・広島においてもどんどんバスが減便される一方、駅前の道路は渋滞しています。Zippar でこの問題を解決し、スムーズな世界を作っていきます。

今回、我々のビジョンに共感いただいた既存投資家・新規投資家のご支援に感謝します。他地域で興味をお持ちの自治体、銀行の皆様、ぜひお問合せください。



以 上